

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間のもつ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なコトでお悩みの方も是非一読されてみてください。

健康新聞

発行所 新健康協会
発行人

〒813-0001
福岡市東区唐原6-7-1
TEL:092-661-1531
https://shinkenko.jp



次の御論文は、明主様(当協会の教祖)が、昭和二十四年に発表されたものであります。世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

社会悪の根源

今日日本の最も悩みである社会悪について論じてみよう。その前に為政者や有識者がとっている手段を検討する必要がある。為政者は法規を厳重の上にも厳重にし取り締まっているが、これらは勿論根本にはふれないから、悪人は法規をいかに巧妙に潜るかに専念している。それは法網の隙を狙いつつめ、隙あらば破ろうとする。当局は破らせまいとますます法網を密にし、破る隙を与えないよう努力している。全く善悪の知恵比べである。ところが、前述のような法網をくぐる人間は、前科者、ボス、不良等を連想されやすいが、事実には決してそんな劣等者ばかりではない。上は大臣から政治家、代議士、官吏、実業界の有名人に至るまで、罪を犯さないものはほとんどないといっ

てもいいくらいである。ただ今日犯罪者として表面に浮かび出した者は、その中の一部に過ぎないとさえいわれる程で、世間は被検挙者は不運であるからとよく言うが、それ程表面に現れない多数の犯罪が蔵されている。そうしてこれら犯罪者を深く検討する時、こういう事がいえる。彼等は罪を恐れない。国家に損害を与えたり、社会に害毒を流したり、他人を苦しめたりしても、良心に恥ずる事を知らない。人を咎める事は知っていて、自分を咎める事は知らない。現在国民が納税に苦しんでいる際、宴会などに馬鹿騒ぎをしているのは役人が多い—という事は、しばしば聞くところである。人間は自身の不正行為に気が咎めなかったり、不純な行為に恥じる心がなかったり、人を苦しめて哀憐の情が起らなかったりするとしたら、それは最早人間としての価値を失っている。何程口に高邁な理論を説き、学識を誇るといっても、それだけでは人間の価値はない。魂のない物質人間である。かような人間が今日あまりに多過ぎるため社会悪が瀰漫し、地獄的世相を顕出しているのである。一言にして言えば、日本全体が重症患者

となつていともいえる。

以上のような憂うべき現象は何が故であろうか。それは全く我々が常にいうところの唯物主義教育のためである事は、一点の疑いを鉄むべき余地はあるまい。この故に、社会悪絶滅の方法は別に困難ではない、ただ唯物主義思想を打破する事—それだけである。然らばその方法は何か、いうまでもなく唯心主義教育である。即ち神を認める事である。霊を霊界の存在を信ずる事である。それが宗教本来の貴重なる使命である。といつても、いたずらに宗教理論を唱えたり、説教やお念仏だけでは神や霊を認識させる事は不可能である。どうしても如実に奇跡を表す事であり、顕著な現当利益を与える事であつて、それ以外に唯物思想を打破する方法は絶対にはないのである。

浄霊体験記

- 胃の激痛から救われ 薬に頼らない生活…
- 死の覚悟から救われ 最高に幸せな人生…
- 結婚することが出来 二人の子供も授かる…
- デキモノなくなり きれいな顔に…

浄霊によって真の健康体となり、運命が向上し、幸せになられた方々の体験でございます。

胃痙攣・首の激痛

胃の激痛から救われ薬に頼らない生活…



南福岡支部 松井美由紀 (53)

私は子供の頃から、家族が薬に依存していることを疑問に思っていました。祖母は若い頃から酷い頭痛持ちで、毎日頭痛薬と胃腸薬を服用し、高血圧の父は大の病院好きで、ちよつとしたことでも、何かあればすぐに医者に掛かっておりました。しかし、治療や服薬が家族を健康に導いているようには見えませんでした。

私が中学二年生の時、学校で嘔吐と腹痛になったので、病院で受診すると「急性盲腸炎」と診断されましたが、手術はせず、薬で炎症を散らすことになりました。その後十八歳の時、胃に激痛が起

り、近くの総合病院を受診すると「胃痙攣」と診断され、抗生物質を処方されました。お医者さんからは「薬は一日に一錠しか服んではいけない」と言われていましたが、あまりの痛みで耐えかねて、三錠も飲んで痛みを抑えていました。

その後も何かあれば薬に頼るしかなく、リスクがあるのでとは思いつつも服用していました。社会人になると、当時知り合いになつた方から「薬や病院に頼らず、健康になれるところがある」と聞き、新健康協会のことを知りました。

そして再び二十二歳の時に胃痙攣になりましたので、浄霊を試してみようと思い、福岡県の直方支部に行きました。最初は胃をねじり上げるような激痛が続いていましたが、浄霊を受けると徐々に痛みが落ち着いていきました。不思議だな…と思っていると、その後に嘔吐や下痢といった症状がありました。しかしそれは、体内の毒素を出す浄化作用ということを知り、少しずつ落ち着いていきました。そして、一口大の自然米のおにぎりを支部の方からいただき、安心したことを今でも覚えています。

その後も、痛みは続きましたが、少しずつ毒素が出ていくのだと思いつながら過ぎました。おかげ様で、明主様にしっかりとお継りし、浄霊を受けることによって徐々に良くなっていき、その後痛みはなくなりました。本当に有難く、心から明主様に感謝申し上げます。

この素晴らしい出来事をきっかけに、私はすぐに入会しました。入会後に胃が痛むことがありましたが、胃の痛みが年に一回となり、二年ごと、三年ごとに回数が減っていき、三十代中頃からは、胃が痛むことはありません。

支部に行き始めてから現在まで、薬に頼らない生活をしています。

また、私の祖母が喜寿の御祝をした後から首が回らず、激しく首が痛むことがありましたので、私が自宅で祖母に浄霊をしていました。すると一カ月経った時に突然首の痛みがなくなり、首が動くようになりまして、二人で喜びの声をあげましたことは今でも忘れられません。

おかげ様で九十四歳まで命の継ぎ足しを頂き、天寿を全うするまで、祖母をずっと悩ましていた頭痛も治まり、奇跡を頂けたと感謝しております。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この有難い浄霊の御力を、多くの人にお伝えしていきたいと思っております。ぜひ一度試してみてください。(福岡県福岡市)

ガン・数々の持病

死の覚悟から救われ最高に幸せな人生…



川棚支部 西坂イマ子 (75)

す。その頃、便秘、出血などをしていましたので、近くの病院へ行くと、すぐに医療センターへの紹介状を書いてくれました。

センターではエコーとお腹の固い部分を診て下さり、そしてお医者さんから私に「これは何と思っている？」と聞かれ、「ガンでは…」と思っています」と答えますと、「頑張りましょうね」と握手されたのでガンだと分かり、次の検査日を指定されました。

このことを友人に話しますと、新健康協会のこと、明主様のこと、浄霊のことを話してくれました。話を聞いていく内に、私は以前に何回も手術もしている、交通事故にも遭っていて、入院しては辛い思いもして…もし今度手術するしたら、術後は何か副作用があるかも…と思いました。そして死が近いのでは…と思うようになり、病院で亡くなってしまおうのであれば、その前に一度浄霊を受けてみたいと思い、友人に早く支部へ連れて行って…とお願ひしました。

すべての病気が治ってしまった

浄霊を受けますと、何か感じるものがありましたので、それに惹かれて続けて行くようになりました。途中出血が多くなることもあり、心配していましたが、支部の先生から、固まっていた毒素が出血という形で出ていることを話して下さい、安心出来ました。

そして自分でも浄霊が出来るように…との思いから、昭和六十一年八月二十七日に入会しました。浄霊を支部で受ける他に、手が空いていれば、いつでもどこでも自己浄霊をしていました。そうやっている内に

浄化作用

人間には体内の毒素(=汚物)を排除して健康を促進しようとする働きがあります。これを称して自然良能力と言います。

例えばカゼの場合、体内にあってはならない毒素を排泄するために熱や痛みが出ます。そして、その結果ハナやタンなどが出て体の中が掃除され、清浄化されます。

その毒素排除の過程を「浄化作用」と言います。ですから浄化作用は、体を健康にする大切な清掃作用でもあるのです。

六〇七年が経った頃、すうつと薬になつた瞬間があり、私、良くなったと思ひました。そして、約三十六年が過ぎた今、一昨年の秋頃より、本当に薬になり元氣になりました。なんて幸せなことでしょうか！感謝感激している内、以前の自分の体のことを思い返してみたら、私の持病だった膀胱炎、痔、腰痛、頭痛、肩、背中の痛み、気管、水虫、のどの出血等、全部良くなっていったのです。それは体ばかりでなく、家庭もです。三十年前の我が家は、私と母親との折り合いが悪く、荒れていました。しかし今は本当に平和に生活が出来ています。今のこの幸せをどうしてもお伝えしたくて書かせて頂きました。誠にありがとうございます。(長崎県東彼杵郡)

椎間板のずれ・花粉症

結婚することが出来
二人の子供も授かる…



周南支部
高橋悦子 (66)

私の実家はガソリンスタンドを経営しています。私が二十歳の頃、いつもガソリンを入れに来られるお客さんの自宅に集金に行くことがありました。これが新健康協会との出会いでした。

この家の奥さん（協会の会員）はとても感じのいい方で、集金以外に色々な話をするほど仲良くなりました。時々、協会のことや浄霊のことも聞いておりましたが、何より驚いたのが、その当時赤ちゃんだった子供さんの顔や体中に出来ていた湿疹が、薬を使わずにきれいに治っていく姿を見た時でした。熱があっても病院に頼らず元気になっていく姿を見て「不思議だなあ」と思っていました。

その頃、私は交通事故に遭い、頸椎の三、四番目の椎間板がズレてしまいました。一年九カ月通院し、たくさん薬や注射による治療やレントゲン検

査をしたのですが、その治療によって、眠ることが困難になりました。睡眠薬を飲みましたが、それでも眠れず、死にたい…とも考えるようになり、治療の甲斐もなく、だんだん手がしびれ、握力、感覚がなくなり、力仕事の多いガソリンスタンドの仕事は全く出来なくなりました。それから検査入院をすることになり、医師より「手術をしなければ、将来は寝たきりになる」と言われ、結婚も子供も諦めるように言われました。手術の日程が決まり、絶望的になっていった時、頸椎の手術をされた二人の男性の患者さんから「手術はしない方がいい」と言われ、ますます不安になりましたが、今思うと救いの声だったのかも知れません。

私にとっては浄霊しかない

検査入院をする前日、たまたま以前浄霊の話聞いていたお宅に行くことがありました。その時に私が治療で悩んでいることを話すと、「浄霊を試してみたら、私も浄霊で救われたから」と言われたので、検査結果が出た後すぐに連絡をしました。すると、「いつでも支部に連れて行ってあげるよ」と言われたので、私は医師を説得し、退院しました。

それから毎日支部に通い、浄霊を受けました。浄霊を受けたことで、その後は毎日仕事に行けるようになりました。また、支部の先生から、病気は体中の毒素を出す「有難い浄化作用」であることを教えて頂きましたので、吐いたり、頭痛がひどい時もありましたが、病院の時とは違い、安心した気持ちで過ごすことが出来ました。私に

としては、もう浄霊しかない…という思いで、心に揺るぎはありませんでした。

浄霊を始めて一カ月半後には入会しました。三カ月位経つとだんだんと元気になり、何でも出来るようになっていきました。これまで体調が悪く、結婚のことなど考えていなかった私ですが、おかげ様で元気な体にして頂き、二十六歳で結婚し、二人の子供を授かることも出来ました。本当に夢のような人生を頂き、明主様への感謝の気持ちでいっぱいです。

長年の花粉症も良くなる

私は二十歳頃から春になると、花粉症のような症状が出ていますが、ここ数年は一月頃より目や二や鼻水がたくさん出ます。この時期はいつも頭がボーっとして熱っぽく体がだるいのですが、週一、二回支部に浄霊を受けにいくと体が軽くなり、おかげ様で仕事を休まず勤めることが出来ています。現在では体全体が軽くなり、活動的になってきています。毎年の毒素がたくさん出るおかげで、元気に働けているのだと実感しています。そのことを心より感謝しています。今では家族皆、会員になり、これまでも色々なおかげを頂いてきました。

四十三年前に浄霊のことを教えてもらっていなかったら、きつと今の自分や家族はありません。そう思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。これから、明主様に救われた感謝の気持ちを、一人でも多くの方に伝えたいです。

明主様、誠に有難うございました。
(山口県光市)

頬のデキモノ

デキモノなくなり
きれいな顔に…



ネパール・ポカラ支部
プロミタ・スレスタ (24)

私は生まれてすぐ、頬に赤いデキモノが出来たそうです。ネパールでは「デキモノを取ると精神的な病気になる」と言われています。

そのような言い伝えと周りの人達からの意見もあり、母もデキモノは取りたくない、躊躇していました。しかし、「女の子の顔にデキモノの跡が残るのは嫌だ」という気持ちもあり、随分悩んでいたそうです。

そんな時、浄霊のことを聞いた母は、もしかしたら良くなるかも知れないと、私を毎日協会に連れて行ってくられて、浄霊を受けました。

その後、今度は左腕にも頬と同じようなデキモノがたくさん出てきました。母はデキモノが増えたように思っただけですが、これらは体にある毒素を出すための浄化作用ということを知り、続けて浄霊を受けました。おかげ様で徐々にデキモノは減って

浄 霊

浄霊は、大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。浄霊によって魂は清浄化され、肉体が健康になっていきます。まずは試されてみてはいかがでしょうか。



いき、七歳になる頃には、頬と腕には何の跡形も残らず、キレイに治りました。初めは心配していた精神的な病気にもならず、元気に過ごすことが出来ます。こうしてキレイな顔でいつも過ごせることに感謝しています。明主様、誠に有難うございました。
(ネパール・ポカラ市)

自然農法

自然農法体験談



佐賀支部
倉谷清子 (79)

私が自然農法を知ったのは今から五十四年前になります。

当時二十五歳だった私は夫と縁があり、夫の実家に嫁ぎました。佐賀県の背振山の麓で、自然豊かなところでした。私が自然農法を知ったのも、この時でした。義父は、夫が二歳の時に新健康協会を知り、自然農法も知ったそうです。その頃から作物を育てていたのかなという疑問もありましたが、その頃は仕事勤めや子育てに追われ農作業はしていませんでした。

私は三十二歳の時、高い熱が出たので病院に行き、薬をのんだのですが良くなり、死の一步手前という状態の時、浄霊をいただいたことで徐々に回復し、「これなら救われる！」と感じました。それから毎日浄霊を受け、一年後には外出できるようになり、おかげ様で三年後には完全に良くなりました。明主様に出合うことがなかったら、私の命はなかったと思います。その頃から実家では農作業の手伝い

自然農法とは自然を尊び、愛情をかけて育てることで、自然力を生かす農法です。

もするようになっていました。そして私が主となって自然農法をはじめたようになったのは今から十八年前です。

義父が長年自然農法をしていたこともあり、畑の土はとてもふかふかで作物が育ちやすい環境が整っていました。しかし最初の頃は、日あたりや温度、水はけの状態等で、どの場所にもどの野菜を植えたら良いのかを模索しました。一年に一回もしくは二回しか育てることが出来ませんので、種植えの時から欠かさずしつかりと記録をとりました。野菜たちが望む場所を探し続けました。おかげ様で現在は、どの場所をどの野菜が好むかが分かるようになりました。毎年元気に育ってくれています。栗の木も五十年以上経っており、毎年秋においしい実を付けてくれます。畑は一年を通して、大根、里芋、白菜、キャベツ、レタス、ほうれん草等、四十種類以上の野菜が出来、毎日感謝するばかりです。私はこうして出来た野菜の種を保管し、この地域にあったものを作り続けていきたいと考え、「種から健康に」ということを目標に頑張っています。

これからも土を「お土」として感謝し、大切にしながら、今まで以上に自家採種を心がけ、いつまでも安心して食べられる、生命力あふれたおいしい野菜作りをしていきたいと思っています。

美の世界

美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにすることができます。

十一代三輪休雪作 《萩茶碗》

お茶碗といえ、和食を食べる私たちにとって毎日手にする身近なもの。本来の「茶碗」、つまり茶道具としては、茶の湯で扱う非日常のうつわとして発展し、鑑賞するものとしての立ち位置をも得るに至っていますが、茶の湯を嗜む者でなくても、それを手にし、口へ運ぶ時の触り心地を想像することは難しくありません。

今回ご紹介する《萩茶碗》は萩焼の名家、十一代三輪休雪の作品です。山口県萩市を中心な産地とする萩焼は、江戸時代に入り萩に本拠を移した毛利輝元が、秀吉の朝鮮出兵に際して日本に連れ帰られた陶工・李勺光を抱え、御用窯として開いたことから始まります。「一楽二萩三唐津」と称されるほど茶人の評価が高く、柔らかい土味が好まれているやきものです。

十一代は明治四十三(一九一〇)年、三輪家九代雪堂の三男として生まれました。十代休雪を襲名した兄を手伝い家業に従事することになったのが中学卒業の十七歳、そして四十五歳頃から「休」と名乗って作品発表を始め、五十七歳で兄の隠居に伴い十一代を襲名。七十三歳の時に重要無形文化財萩焼保持者に認定され、九十三歳で隠居したのちも「壽雪」と号して晩年まで作陶を続けました。

十一代を特徴づけるのは、陶土を濾す過程で取り除かれた砂を再び混ぜ合わせることでざらりとした質感を得る「鬼萩」と、底の立ち上がった台部分を十字などに切り込む「割高台」。それぞれ古くからある様式ですが、自身のイメージを徹底

し、兄とともに開発した「休雪白」の釉薬を分厚くかけ、全体として過剰なほどの造形に仕上げること、自ら「茶の飲めない茶碗」といい、「手の回らない茶碗」とまで評される強烈な個性をつくりあげました。

長い修行時代を経て、じつくりと萩のやきものに向き合い続ける中、時代も職人の技術だけでなく作家性を求めるようになりました。本作はおそらく早くからつくられていた、どことなく赤茶を思い起こさせる穏やかな雰囲気作品で、両手で包むように持つのにも心地良さそうです。晩年にむけて完成させる大胆な作品群は、茶碗を否定するものではなく、茶碗をつきつめるからこそ行き着いたもの。時代の個性でつなぎとめたからこそ伝承されたものだと思います。

解説
松田愛子



清明会館

「伝承の趣」後期展
期間…1月7日(土)～5月13日(土)

※清明会館お問い合わせ ☎(092)661-1535

健康新聞についてのお問い合わせは
(092)661-1531まで